

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：環境安全課
担当課長名：菊地 春海

事業名	一般県道大島浪板線（浪板工区） <small>おおしまなみいた なみいた</small>	事業区分	地方道	事業主体	宮城県																	
起終点	自：宮城県気仙沼市大浦 <small>みやぎけんけせんぬまし おおaura</small>	至：宮城県気仙沼市東八幡前 <small>みやぎけんけせんぬまし ひがしはちまんまえ</small>	延長	2.7 km																		
事業概要	<p>一般県道大島浪板線（浪板工区）は、三陸縦貫自動車道の（仮称）大島IC、（仮称）気仙沼北IC及び国道45号と接続することにより震災復興、救急医療の確保及び地域間交流等に寄与する道路である。</p> <p>また、当該道路は浪板・大浦地区の防災集団移転団地へのアクセス道路であり離島大島を結ぶ唯一の道路でもあるため、津波浸水区域を避けた位置に計画しており、周辺地域における災害時等の緊急避難路又は復興支援道路として必要不可欠な道路であり、気仙沼市大浦～気仙沼市東八幡前までの延長約2.7 kmを整備するものである。</p>																					
H23年度事業化	—	H24年度用地着手	H24年度工事着手																			
全体事業費	約64億円	事業進捗率	約58%	供用済延長	— km																	
計画交通量	4,100～5,500台/日																					
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border-bottom: 1px solid black;">B/C</td> <td style="width: 30%; border-bottom: 1px solid black;">総費用</td> <td style="width: 30%; border-bottom: 1px solid black;">総便益</td> <td style="width: 10%; border-bottom: 1px solid black;">基準年</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">(事業全体)</td> <td style="font-size: small;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="font-size: small;">(残事業)/(事業全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">24/60億円</td> <td style="text-align: center;">68/68億円</td> <td style="text-align: center;">平成27年</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">(残事業)</td> <td style="font-size: small;">(事業費：23/59億円) 維持管理費：1.3/1.3億円</td> <td style="font-size: small;">(走行時間短縮便益：58/58億円) 走行経費減少便益：7.8/7.8億円 交通事故減少便益：2.6/2.6億円</td> <td></td> </tr> </table>	B/C	総費用	総便益	基準年	(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)		1.1	24/60億円	68/68億円	平成27年	(残事業)	(事業費：23/59億円) 維持管理費：1.3/1.3億円	(走行時間短縮便益：58/58億円) 走行経費減少便益：7.8/7.8億円 交通事故減少便益：2.6/2.6億円						
B/C	総費用	総便益	基準年																			
(事業全体)	(残事業)/(事業全体)	(残事業)/(事業全体)																				
1.1	24/60億円	68/68億円	平成27年																			
(残事業)	(事業費：23/59億円) 維持管理費：1.3/1.3億円	(走行時間短縮便益：58/58億円) 走行経費減少便益：7.8/7.8億円 交通事故減少便益：2.6/2.6億円																				
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">(事業全体) 交通量</td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px solid black;">(残事業) 交通量</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">：B/C=1.1～1.2(交通量 ±10%)</td> <td style="font-size: small;">：B/C=2.7～2.9(交通量 ±10%)</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">事業費</td> <td style="font-size: small;">事業費</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">：B/C=1.1～1.2(事業費 ±10%)</td> <td style="font-size: small;">：B/C=2.5～3.1(事業費 ±10%)</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">事業期間</td> <td style="font-size: small;">事業期間</td> </tr> <tr> <td style="font-size: small;">：B/C=1.1～1.2(事業期間±1年)</td> <td style="font-size: small;">：B/C=2.7～2.9(事業期間±1年)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量	(残事業) 交通量	：B/C=1.1～1.2(交通量 ±10%)	：B/C=2.7～2.9(交通量 ±10%)	事業費	事業費	：B/C=1.1～1.2(事業費 ±10%)	：B/C=2.5～3.1(事業費 ±10%)	事業期間	事業期間	：B/C=1.1～1.2(事業期間±1年)	：B/C=2.7～2.9(事業期間±1年)					
(事業全体) 交通量	(残事業) 交通量																					
：B/C=1.1～1.2(交通量 ±10%)	：B/C=2.7～2.9(交通量 ±10%)																					
事業費	事業費																					
：B/C=1.1～1.2(事業費 ±10%)	：B/C=2.5～3.1(事業費 ±10%)																					
事業期間	事業期間																					
：B/C=1.1～1.2(事業期間±1年)	：B/C=2.7～2.9(事業期間±1年)																					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・(1) 車両通行の安全の確保 ・(2) 津波避難路としての機能 ・(3) 離島大島からのアクセス確保 ・(4) 三陸縦貫自動車道へのアクセス向上 																					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県震災復興計画（平成23年10月策定） ・気仙沼市震災復興計画（平成23年10月策定）に位置づけられている。 																					
事業評価監視委員会の意見	事業継続を妥当と認める																					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・地元調整の結果、交差県道を立体（アクセス無し）から平面交差に変更し、気仙沼北ICへのアクセスを確保した。 																					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率約67%、事業進捗率約58%																					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業の進捗に係わる問題は無い。今後は早期完了を目指し道路改良の工事を推進していく。																					
施設の構造や工法の変更等	防災集団移転促進事業の流用土の利用等コストの縮減に努めていく																					
対応方針	事業継続																					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。																					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。